

2012年8月

発行：日本共産党粕江市議団

連絡先：粕江市役所内控室 3430-1177

日本共産党粕江市議団の活動を紹介します。

子どもの医療費無料化など 福祉施策の維持充実を

日本共産党市議団が高橋市長に申し入れ

住宅リフォーム助成

希望者全員が助成を受けられるように

住宅リフォーム助成制度の利用希望者が当初の見込みをはるかに上回る122人、予算額で約1900万円となり、当初予算の500万円では、大幅に不足することが明らかになりました。

市では急ぎよ9月の定例会に補正予算を提出し、希望者全員が助成を受けられるように準備をしています。

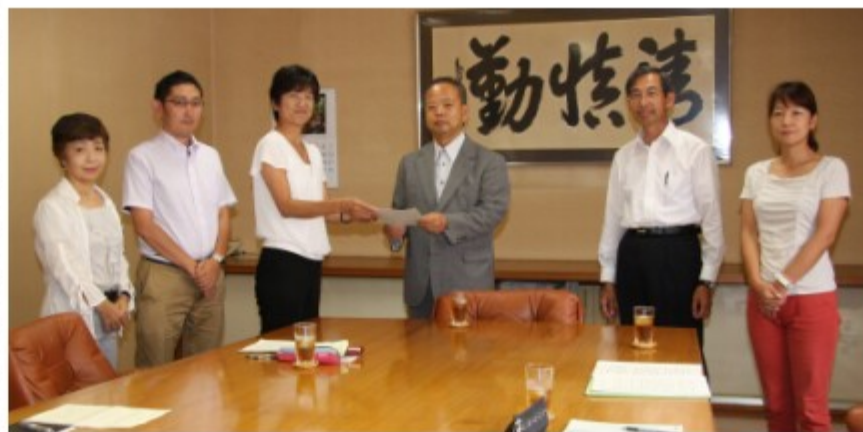
住宅リフォーム助成制度は、15万円以上の改修工事、市内の業者に頼んで住宅改修

9月議会に補正予算提出へ

住宅リフォーム助成

市では急ぎよ9月の

を実施する場合に、工



高橋市長に申し入れを行う日本共産党市議団。(左から)宮坂良子議員、岡村しん議員、田中とも子議員、高橋市長、鈴木えつお議員、西村あつ子議員(7月24日、市役所内)



● 絵手紙発祥の地、削減をやめること。
市長：保険税値上げ前に徴税努力など行い一般会計からの繰入金削減に努力したい。
● 保育サービスの後退を招く
公立保育園の安易な民間委託をやめること。
市長：お母さん方の考え方を聞きながらすすめる。何がなんでも強行するということではない。
● 認証保育所や幼稚園の保護者負担軽減、脱原発首長会議への参加など、市民のため

高橋市長 「乳幼児医療無料化は維持する」

「脱原発首長会議への参加考えていない」

7月24日、日本共産党市議団は高橋都彦市長に6項目の申し入れを行い、市長は大事なように答えました。

● 子どもの医療費無料化など福祉施策を後退させず維持充実をはかること。
市長：乳幼児医療費助成制度は維持する。民生費の整理については、いま猛勉強中。

音楽の街―粕江のとりにくみを充実発展させること。
市長：絵手紙発祥の地という言葉にひっかかる。ゼロペーから見直す、なくすという事ではない。
● 国税の大幅値上げにつながる一般会計からの繰入金削減をやめること。

安心安全基本条例が成立

6月15日、矢野市長(当時)が提案した「粕江市安心で安全なまちづくり基本条例」が成立しました。

この条例は、市民の生命・身体・財産を守るために、地域が中心となって、防災、防犯、交通安全、火災予防

などに取り組み、市民が安心して暮らすことができるまちを実現するためのものです。
いまこの条例を推進する推進審議会と地域協議会設立準備会を開設する準備がすすめられています

● 削減をやめること。
市長：私も脱原発がいいとは思いますが、首長会議への参加は考えていない(※「粕江の放射能を測る会」の公開質問状に参加すると答えている)。

行委員になり広めてきて、全国から粕江を訪れる人が増え大変うれしく思っていました。ところが高橋市長は「発祥」は引かかる」と発言したとのこと。これまでみんなできくりあげてきた大切な文化をこわさないでほしい。いままんなで高橋市長にハガキでそのことを訴えています。

高橋市長からは、前向きな発言もありましたが、福祉予算の削減や国税の値上げにつながる発言、また脱原発首長会議への参加を否定する発言もありました。

高橋市長は公約どおり脱原発首長会議に参加を

日本共産党市議団は、福祉施策の後退許さず、市民の願いを一つでも二歩でも前進させるため全力でがんばります。

「粕江の放射能を測る会」西尾真人(和泉本町)

「絵手紙発祥の地―粕江」の事業「こわさないで！」

高橋市長にハガキ要請行動



「絵手紙発祥の地―粕江」実行委員 重森孝子(和泉本町)

私は絵手紙が大好きです。「絵手紙発祥の地―粕江」実

私たちは市長選立候補予定者に「公開質問状」を出し、広く市民の皆さんにその回答をお知らせしました。
高橋市長は、脱原発首長会議への参加を表明されていますので、いつ参加されるのか7月30日に文書で申し入れました。脱原発と粕江での放射能対策に積極的な姿勢を示してほしいと思います。